

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	⑬	地域の自衛消防隊、町内会の方たちとの大規模の訓練ができていない。災害備蓄品の管理を見直しして確認を行う。	早急に消防署、地域住民、自衛消防隊も参加する訓練ができてよう調整を行う。 災害備蓄品の管理を行う。	感染対策を行い、ご利用者、職員が参加できるように年間計画を作成し実施する。	3ヶ月
2	①	グループホームとしての理念が策定されているが初級、中級と2つの理念に分かれているのでグループホームとしての理念で統一を図る。	事業所として理念を1本化し目指す方向を全職員がわかりやすくレクリエーションに対する職員の意識の向上を図る。	事業所(グループホーム)としての理念の1本化を行う。	1ヶ月
3	③	コロナ禍もあり、運営推進委員の方たちとも電話や資料を郵送して意見や助言を頂く状況であるが感染対策を行い会議が行えるよう調整を行う。	① 感染対策を行い会議が行えるよう調整を行う。 ② 書面開催としてもアンケートを送付し回答を取りまとめ全委員へ送付する。	書面郵送時にアンケート調査表を必ず作成し全運営委員へご意見、ご要望など確認を行う。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。